

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐山市立海青中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・授業において、グループワークやフレクシオンを取り入れたことにより、生徒が主体的・協働的に授業に臨み、メタ認知能力を高めるような取組を行った。今後も、校区内3つの小学校と連携して取り組んでいる人権・同和教育をさらに推進していく。また、授業中におけるグループ学習を通して課題解決学習を多く取り入れた教科については、成績の伸びと学習意欲の向上が見られた。今後は、家庭学習と授業のリンクを意識し、課題解決力をさらに高める取組を行っていく必要がある。</p> <p>・「いじめほどの学校にも起こりうる」という認識のもと、全職員がアンテナを高くし、生徒の言動に注意深く気を配り、生徒指導上の問題に対し早期発見に努める教職員集団になるよう研修を進めといた。また、自分から挨拶をする生徒も増え、学校全体が落ち着き始めたが、今後も生徒指導の3機能(自己決定の場を与える・自己存在感を与える・共感的人間関係の育成)を活かした教育活動をすべての教職員が実践できるようにして、「チーム海青」として組織力を高めていく。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	「感謝の気持ちを持ち、自立に向かう生徒の育成」～みんなが楽しい学校に～
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>(1)授業改善を図り、学ぶ生徒の育成 (2)自分から挨拶ができる生徒の育成</p> <p>(3)安心して、学び生活できる集団を作る生徒の育成</p> <p>(4)ボランティア精神にあふれた生徒の育成 (5)部活動の活性化</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○指導方法の改善	○諸調査における無回答を減らし、対県比や到達目標への達成率を前年度より1P以上向上させる。	・グループ学習の効果を探りながら、学力向上に繋がる研修会を定期的に行う。 ・参観の視点を広げさせ、授業研究会を充実させる。 ・全職員が1回の研究授業を行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校行事、生徒会活動、係活動等に積極的に取り組んでいると答える生徒の割合を60%以上にする。	・定期的にGWTやエンカウンターを取り入れ、互いを認め合う授業に取り組む。 ・生徒・教師・保護者による挨拶運動を実施する。 ・ボランティア活動を活性化させる。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校が楽しいと答える生徒の割合を65%以上にする。	・年2回のhyper-QUの実施と分析・考察を行う。 ・いじめアンケートや日記・学活ノートを通して、早期発見や早期対応を適切に行う。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを多くの場面で意識させ、自己の健康管理に活かせるようにする。 ・交通安全教室の効果的な実施。 ・生徒自身が、学校内外で起こりやすい怪我や病気を知り、予防できるようにする。							
	○精神面、技術面の向上を目指した部活動指導	○県大会に出場する部活動を増やす。 ○持久力の数値を昨年度より上げる。	・県大会を目指す機運を高める。 ・体育の授業や部活動を通して体力づくりを推進する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定。 ・部活動休業日の設定。 ・学校閉庁日の設定。							
	○学年・学級経営の充実	○PDCAサイクルを取り入れ、hyper-QUの結果を分析・検討して、学級経営に活かす。 ○学年の協働意識を高め、職務の効率化と生徒指導の充実を図り、時間外勤務の時間を昨年度より減らす。	・学級経営案を職員で供覧し、各自の取組に対しての意識化を図る。 ・週1回の学年会の中で、情報交換や協議を行い、共通理解に基づいた協働を推進する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○生徒指導・教育相談の確立	○生徒指導の重点指導方針を活かした自己指導力の育成 ○個に応じた支援の推進	○自分のことが好きだと答える生徒の割合を65%以上にする。 ○先生に困ったことや悩みを相談できると答える生徒の割合を65%以上にする。	・生徒会と連携し、生徒の主体的な活動を位置づける。 ・学校教育目標を意識し、「みんなが楽しいとは？」ということを生徒に返しながら全職員で、生徒同士、生徒と教師が繋がり、互いに尊重し合う態度を育成する。							
○保護者・地域に信頼される学校づくり	○学校安全管理に基づく危機管理体制の整備 ○学校公開と情報提供の推進	○災害発生時に対応できる実践的な避難訓練を定期的に行う。 ○学校教育目標の周知率を80%以上にする。 ○携帯掲示板のアクセス数を100以上に上げる。	・原子力防災、火災、地震、不審者対応等の避難訓練の実施。 ・保護者や地域の方々々が参加しやすい学校行事を工夫する。 ・適時、携帯掲示板を活用し、情報を発信する。							
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する研修会を学期に1回行い、教員の専門性を向上させる。 ○ケース会議等を充実させ、支援の在り方、支援の方向性を見据えて適切に支援できる教員を増やす。	・個に応じた適切な対応ができるように、外部講師を招聘して専門的知識を習得する研修会を行う。 ・支援が必要な生徒の情報を共有し、該当生徒に対してケース会議を開き、全ての教員が対応できる環境を整える。							
○教職員の資質の向上	○生徒、保護者、地域から信頼される教職員	○服務規律の厳正を図り、服務規律違反、事故等の発生をゼロにする。 ○出張、休暇、職免等の処理の適正化を図る。	・毎月1日を「服務指導ゼロの日」として、チェックリストを実施し、意識づけを図る。 ・服務に関して、職員会議等で研修を行う。 ・「信頼される教職員であるために」等の資料を用いて、全職員が研修を深める。							

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--